企画・統計、広報関係部課長会議　議事録

１　日　時　平成２６年５月２１日（水）　午後１時３０分
２　会　場　愛知県自治センター４階　大会議室
３　当番市　豊川市
４　出席者　愛知県・・・地域政策課　主査　高臣　綾子
　　情報企画課　主査　吉村　英樹
　　情報企画課　主査　金澤　誠
　　市・・・・・名古屋市情報化推進課長　長谷川勝人　始め３８名
　　市長会事務局・・・行政係長　石川浩司
　　財政係長　大山順子
　　主　　査　熊谷裕美
５　内　容　①　開　　会　市長会事務局　大山順子
　　②　あいさつ　愛知県情報企画課　主査　吉村英樹
　　③　議長選出　豊川市秘書課長　中森利仁
　　④　議　　題　別紙参照
　　⑤　連絡事項　愛知県立大学学術情報部長
　　兼研究支援・地域連携課長　秋田氏
　　⑥　次年度当番市の決定　津島市
　　⑦　閉　　会　市長会事務局　大山順子

議題１　ＩＣＴの活用促進に関する取組状況について（豊田市提出）
（１）オープンデータ化の取組状況
（２）公衆無線ＬＡＮの環境整備に関する取組状況
（３）ＩＣＴ活用促進に関する代表的な取組
（４）ＩＣＴ活用促進の組織体制

◆各回答は別添資料参照。
◆質疑応答については以下のとおり。
Ｑ　豊田市：オープンデータのメリットやデメリットについて
Ａ　名古屋市
・　メリットといわれると大変厳しい
・　オープンデータの取り組みについては、議会からの要望で行っている
・　市民への情報提供の新たな取り組みと考えているが、目標が明確になっていない
・　二次利用の可否がわからないものとなっている。また、ほしいデータがどこの部署にあるかわからない⇒公開しているものは二次利用が可能だという表記を行うような環境づくりをしていく取り組みを行っている。また、データを持っ

ているところにこのような意識をもってもらうようにしていく

Ａ　豊川市

・　下水道情報については、業者が活用している
・　道路工事情報についても掲載している。これは、市民も活用していると思われる
・　情報の新鮮さが必要ということで、各課は苦労していると思われるので何とかしないといけない
・　パッケージを利用しているため、表示がわかりづらい部分がある。更新する際には気をつけるようにしなければいけない

Ｑ　豊田市：公衆無線ＬＡＮの観光施設への来訪者対策。民間事業者と行政の役割分担。民間事業者やエリアが変わると、利用方法が変わるなどの問題がある。今後、自治体同士共同して行うなどの面的な導入の考えがあるか

Ａ　回答なし

Ｑ　津島市：公衆無線ＬＡＮの整備で、自動販売機で整備しているとあったが、導入しているメーカーなどが知りたい

Ａ　田原市：中部ブロック道の駅連絡会が設置するためわからない

Ａ　岩倉市：わからないが、入札ではなく、一本釣りで設置した

Ａ　名古屋市：タケショウという業者が取り扱っている。名古屋城に入っている。その他にも導入しているところがある

Ｑ　岩倉市：医療総合ＩＣカード実証実験について、詳しく知りたい。またこれは、マイナンバーを見込んでのものか

Ａ　豊田市：文科省の補助金で行った事業。マイナンバーは別物。足助病院の患者にカードを渡し、地域内で利用してもらうもの。カード内には、健康情報が登録されている。救急時の対応に役立たせるための実験。今後、展開できるかどうかはこれからの検討となる。

議長：ＩＣＴの活用について愛知県からの発言を求める。

県（金澤）：愛知県でもＨ２５の一般質問でオープンデータでの質問を受け、Ｈ２６．３にオープンデータカタログを作成し、サイトを公開している。国は、Ｈ２５．６に省庁自体のオープンデータのガイドラインを策定している。Ｈ２６年度中に地方自治体向けのオープンデータの公開に関するガイドラインを示すとしている

県（吉村）：公衆無線ＬＡＮに関しては、各自治体ごとに点で整備をしていることが分かった。豊田市の言うとおり、観光客に対しては、導線を結ぶ必要があるので、面整備が必要と思われる。公共施設などは、市民サービスのため自治体で行うのはよい。観光施設や駅などは事業者を巻き込んで行う必要がある。広域で取り組みを

するような勉強会を開催することで、面整備ができるのではと考えている。
　ＩＣＴの推進事業の関係は、今、公募中。県から各自治体の情報担当あてに通知を出している。ＩＣＴのまちづくりの実証実験の参加を募っている状況。共通のプラットフォームを作り、行政サービスに呼応させる。興味があれば検討してほしい。